

# 平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月10日

上場会社名 JMACS株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5817 URL http://www.jmacs-j.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐藤栄一 TEL 06-4796-0020  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 未定  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	1,101	△7.7	△70	—	△56	—	△49	—
30年2月期第1四半期	1,193	—	44	—	58	—	34	—

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 △51百万円 (—%) 30年2月期第1四半期 39百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	△10.52	—
30年2月期第1四半期	7.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	7,118	4,515	63.4
30年2月期	7,084	4,640	65.5

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 4,515百万円 30年2月期 4,640百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,476	9.8	△14	—	11	△67.4	△15	—	—
通期	5,401	11.5	72	28.6	125	17.9	28	△73.6	6.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期1Q	4,691,555株	30年2月期	4,691,555株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	24,604株	30年2月期	24,604株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	4,666,951株	30年2月期1Q	4,659,702株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ（連結業績予想などの将来予想情報に関する説明）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や北朝鮮情勢などの地政学リスクが伴ったものの、国内での雇用・企業収益の改善に加え、2020年東京オリンピック開催を控えた国内需要の盛り上がりやインバウンド需要の後押しにより、堅調なペースで景気は推移しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、経営方針として、一、基本を大切に。一、品質と生産性。一、スピードと技術。を掲げ、新製品及びソフト開発に力を入れてまいりました。

また販売戦略につきましては電線事業、トータルソリューション事業、海外事業がそれぞれ連携し、国内外の販路開拓に注力してまいりました。

この結果当社グループの業績につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,101,553千円(前年同四半期比7.7%減)、営業損失70,190千円(前年同四半期は営業利益44,488千円)、経常損失56,817千円(前年同四半期は経常利益58,228千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失49,115千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益34,297千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <電線事業>

電線事業につきましては、各品目毎の製品販売は堅調でしたが高付加価値製品の出荷が減少したことにより、売上高と利益率が共に減少し、売上高1,076,545千円(前年同四半期比8.2%減)、セグメント損失15,207千円(前年同四半期はセグメント利益88,540千円)となりました。

#### <トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、スマート工場等のソリューション提案やニーズの汲み上げを行い、スマートグラスやシステム関連製品の販売に注力してまいりました。

案件はあるものの、導入検証に期間を要し、全体としても減少しており、売上高17,983千円(前年同四半期比11.1%減)となり、研究開発活動等によるコスト増加により、セグメント損失45,884千円(前年同四半期はセグメント損失33,432千円)となりました。

#### <海外事業>

海外事業につきましては、積極的な営業活動による販路開拓により、電線・ケーブルやスマートグラス製品等の販売が増加したことから、売上高7,024千円(前年同四半期比1292.4%増)、セグメント損失9,099千円(前年同四半期はセグメント損失10,619千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は7,118,711千円となり、前連結会計年度末に比べ34,562千円増加いたしました。その主な要因は現金及び預金の増加250,056千円、商品及び製品の増加40,607千円、受取手形及び売掛金の減少217,245千円、電子記録債権の減少32,905千円等によるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債残高は2,602,796千円となり、前連結会計年度末に比べ159,109千円増加いたしました。その主な要因は短期借入金の増加300,000千円、賞与引当金の増加30,302千円、支払手形及び買掛金の減少82,057千円、電子記録債務の減少58,129千円、未払法人税等の減少40,106千円等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産残高は4,515,914千円となり、前連結会計年度末に比べ124,546千円減少いたしました。その主な要因は利益剰余金の減少121,813千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月13日に発表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	245,720	495,777
受取手形及び売掛金	1,782,111	1,564,866
電子記録債権	162,731	129,825
商品及び製品	321,551	362,158
仕掛品	112,244	121,051
原材料及び貯蔵品	339,524	333,110
その他	38,945	55,201
貸倒引当金	△1,074	△1,680
流動資産合計	3,001,754	3,060,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,066,038	1,050,327
機械装置及び運搬具（純額）	167,890	163,594
工具、器具及び備品（純額）	21,228	19,416
土地	1,045,837	1,045,837
建設仮勘定	18,688	18,688
有形固定資産合計	2,319,682	2,297,863
無形固定資産	9,704	9,201
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	1,583,924	1,583,521
その他	169,083	167,814
投資その他の資産合計	1,753,007	1,751,336
固定資産合計	4,082,394	4,058,401
資産合計	7,084,148	7,118,711
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	432,760	350,702
電子記録債務	525,360	467,230
短期借入金	300,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	42,500	42,500
未払金	70,254	78,253
未払法人税等	43,222	3,115
賞与引当金	17,908	48,210
その他	41,495	49,961
流動負債合計	1,473,500	1,639,974
固定負債		
長期借入金	680,000	669,375
退職給付に係る負債	111,589	114,849
役員退職慰労引当金	147,616	147,616
その他	30,981	30,981
固定負債合計	970,186	962,822
負債合計	2,443,687	2,602,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,092	644,092
利益剰余金	3,317,390	3,195,576
自己株式	△11,783	△11,783
株主資本合計	4,597,484	4,475,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,588	41,066
為替換算調整勘定	388	△822
その他の包括利益累計額合計	42,976	40,243
純資産合計	4,640,460	4,515,914
負債純資産合計	7,084,148	7,118,711

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	1,193,525	1,101,553
売上原価	883,242	892,772
売上総利益	310,282	208,781
販売費及び一般管理費	265,794	278,972
営業利益又は営業損失(△)	44,488	△70,190
営業外収益		
受取賃貸料	16,879	16,879
その他	1,220	2,008
営業外収益合計	18,099	18,887
営業外費用		
支払利息	2,005	2,143
賃貸収入原価	2,299	2,315
その他	55	1,055
営業外費用合計	4,360	5,514
経常利益又は経常損失(△)	58,228	△56,817
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	58,228	△56,817
法人税、住民税及び事業税	10,487	1,319
法人税等調整額	13,443	△9,021
法人税等合計	23,930	△7,701
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,297	△49,115
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	34,297	△49,115

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,297	△49,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,157	△1,522
為替換算調整勘定	△1,784	△434
その他の包括利益合計	5,372	△1,956
四半期包括利益	39,669	△51,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,669	△51,071



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソ リユーション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,172,801	20,219	504	1,193,525	—	1,193,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	1,856	835	2,841	△2,841	—
計	1,172,952	22,075	1,339	1,196,366	△2,841	1,193,525
セグメント利益又は損失 (△)	88,540	△33,432	△10,619	44,488	—	44,488

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソ リユーション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,076,545	17,983	7,024	1,101,553	—	1,101,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,078	724	—	5,803	△5,803	—
計	1,081,623	18,708	7,024	1,107,357	△5,803	1,101,553
セグメント損失(△)	△15,207	△45,884	△9,099	△70,190	—	△70,190

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。